



【巻頭言】

想いを形に

—若竹の家庭を作ろう—

園長 野田大燈

平成 28 年元旦 明けましておめでとうございます。本年もご指導・ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

「元旦や 人それぞれに 想いあり」と言う句がありますが、本当にその通りだと感心しています。園生 1 人 1 人が自分の希望・目的を持って新たな一歩を踏み出してほしいと願っています。

法人全体の「想い」としては、昨年より工事中だった姉妹施設の児童養護施設「亀山学園」が 4 月に竣工式を迎えますので、今年には若竹学園園舎の増改築を目標として職員・園生が力とアイデアを出し合って《若竹家族》のための住まい造りにチャレンジしたいと思います。

実は現在の園舎は 50 名定員の建物の半分の建物でしかありません。

その理由は約 20 年前の建設時に「今後は少子化となるので 50 名と言う定員を埋めることが出来ないのではないか。

そのために当面は建物を 2 分の 1 としてはどうか」と言う事から現在の園舎になりました。

大まかに言って 50 人用の建物を半分の大きさにした建物に約 30 名が生活していますので、食堂・厨房・自室に始まりすべての部屋が狭いのは当然です。

今回の増改築は園生と職員の建設的な意見を反映した素晴らしい園舎になれば、と考えています。食堂も従来の正坐での食事から椅子テーブルのスタイルに変え、お風呂も男女専用のものとして皆がゆったりと入浴できることを願っています。

部屋も個室を原則とし、助け合いや譲り合いを学ぶための 2 人部屋・3 人部屋も設けます。

計画の当初は本館と同じような 3 階建てでしたが、ここは瀬戸内海国立公園の中に位置しますので、高さや建物の色彩まで制限を受けますので 3 階建ては不許可だと行政窓口から言われてしまいました。

そこで半地下にして高さ制限を何とかクリアしようと努力しましたが叶いませんでした。結果として増設部分は 2 階建てと決定しましたが、二階部分を有効利用するために周囲に網を張るなどして可能な体育が出来るように考えています。限られた面積の中での増改築ですが、夜の時間を園生全員で集える空間や、退園生が一泊できるような部屋も考えています。

建物は職員だけが考えるのではなくて、園生全員で考えた園舎にしたいです。

そして、帰省しての家族との生活も楽しいけれど、帰省できなくても学園での生活が楽しいものになればと考えています。

学園の生活は「自立」を目指したものですので、卒園してもちょうと自分の足で歩いて行ける 1 人 1 人に成長してくれることを願っています。

—了—

渋柿収穫

11 月 29 日(日)、遍路小屋に実っていた渋柿の収穫を園長先生と園生で行いました。

渋柿を食べるためには、干し柿等の方法がありますが、今回はリンゴを渋柿の入った袋に入れて 1 週間置いておく、リンゴ処理法を行いました。

苦くて食べられなかった渋柿も 1 週間後には柔らかく甘い柿になり、「甘くておいしい」と園生も喜んで食べていました。



『ひらひらペーパー』というゲームでは、箸でひらひら落ちてくる紙を上手く掴める園生がいました。紙が落ちるまで粘り強く挑戦していました。



レクリエーション活動の時に集めたお金(子ども達が作成)でセリをしておやつを食べました。セリで負けて欲しかったおやつが貰えなくて悔しがっている園生もいましたが、最後には笑顔で食べていました。クリスマス会を園生全員で楽しむことが出来ました。



クリスマス会

12 月 24 日(木)に子ども達が心待ちにしていたクリスマス会を行いました。12 月初旬に出していたクリスマスツリーを見て楽しみにしていたようです。クリスマス会が始まるとレクリエーション活動に一生懸命になる子や職員とのふれあいを楽しんでいる子の姿が見られました。

「高松イオンさんよりサンタさんが参加！」



『たたいてかぶって』というゲームでは、サンタさんに負けないように頑張っていました。

12 月 25 日(金)には、クリスマスプレゼントが子ども達に届きました。朝、喜びの声が学園内で聞こえました。午後は、クリスマスケーキ作りを行いました。「ケーキは、買った事はあるけど作った事は無い」と言って、目を輝かせてケーキを作っている園生もいました。良い経験が出来たのではないかなと感じています。



若竹学級だより

木の実の置物作り

11 月 26 日 (木)、小学生は五色台ビジターセンターを訪問しました。

まずはクラフト体験。日本にはないという外国のビッグ松ぼっくりや様々な形のどんぐり、小枝などを使って、センターの方に作り方を教えてもらいながら、置物を作りました。それぞれ自分なりに工夫を凝らして、納得のいく作品を作り上げることができ、満足した様子でした。

まっぼっくりで
ツリーを作ろう。



アイデアがどんどん
浮かんでくるぞ。

その後は、小雨の中、センターの方の案内で、周辺の自然を観察しました。木によってどんぐりの形が違うのを手で触って確かめました。中には食べられる実もあり、子どもたちは、素朴な味を味わっていました。珍しいきのこも発見。それを指でつまんで押すと、胞子が吹き出してくるもので、不思議そうに自分でも試していました。見るだけでなく、五感を通して自然や季節を感じるよい体験ができました。

五色台の自然を学ぶ

11 月 27 日 (金)、中学生は五色台自然科学館を訪問しました。

初めに、岩石資料や化石に触れながら説明を聞きました。五色台で採れる珍しいカンカン石に親しみをもったようです。

次に、五色台に生息する生物の剥製を見な

がら館内を回りました。所々で職員の方に質問し、興味深く話を聞いていました。

その後、周辺を散策しました。うるしの木の見分け方を教えてもらったり、顔をしかめながらセンブリの苦みを味わったりと意欲的に活動に取り組めていました。



持久走に挑戦!



12 月 17 日 (木) に運動公園へ行き、公園内で約 1500 メートルのタイムトライアルを行いました。寒風の中で、自分の力を出し尽くそうと真剣に取り組む子どもたちの姿にたくましさを感じました。

次回は 1 回目よりもさらによい記録を出そうと意欲を見せていました。

クリスマスケーキ作り

12 月 18 日 (金) クリスマスケーキ作りをしました。同じ材料を使いましたが、その飾り付け方は子どもにより様々で、それぞれのアイデアでオリジナルケーキができました。みんなで分け合う材料もあり、お互いのことを考えて分け合う姿が見られました。一足早いクリスマス気分をみんなで楽しみました。



農園だより



男子園生と一緒に冬野菜を収穫する為に農園作りを頑張っています。現在、植えている野菜はハウレンソウ、ハクサイ、大根、水菜、茎ブロッコリー、ネギです。



農作業はしんどい作業と思いきや嫌がる子が多いのですが、作業を始めた園生は自分で育てた野菜が少しずつ成長をする姿を見て、『収穫はいつかな』と心弾ませるようになりました。

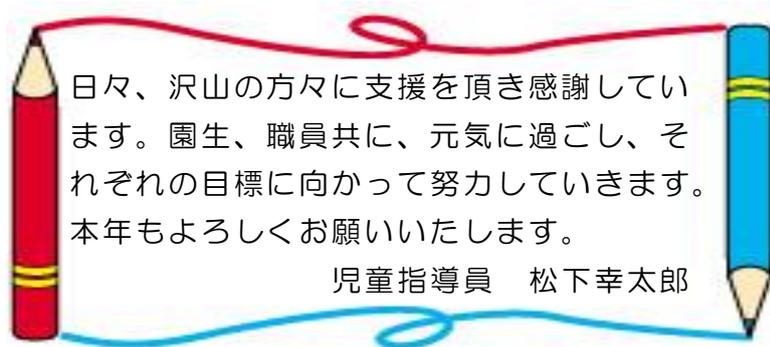
うね作りや草抜き等の作業を頑張っています。これからの収穫が楽しみです。



- 17 日 買物学習
- 24 日 クリスマス会
- 28 日 餅つき

在籍人数 平成 27 年 12 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男子	小学生	1	5	6
	中学生	6	4	10
	その他	0	0	0
	計	7	9	16
女子	小学生	3	0	3
	中学生	4	2	6
	その他	0	0	0
	計	7	2	9
合計		15	12	25



～御寄附ありがとうございました～

佐藤 秀樹 様
石原 真生 様
平田 行久 様
あゆみの箱 様
SBI 子供希望財団
高松イオン 様

りんご沢山
お菓子沢山
そば沢山
デジタルカメラ
英会話教材
DVD プレーヤー・
ボードゲーム

第 263 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
ホームページ <http://4on.or.jp/>
Eメール wakatake@mail.netwave.or.jp
編集兼発行者 若竹学園 編集委員
発行責任者 野田 大燈